

6大学共同開催フォーラム「スマート畜産の現状と展望」に参加しました。

2025年9月29日(月)に岩手大学にて開催された6大学共同開催フォーラムでは、東京大学、神戸大学、岩手大学、大阪公立大学、東北大学、および宮崎大学の『食』に関する付属施設が集まり、『スマート畜産の現状と展望』というテーマのもとで講演会および情報交換会が開催されました。現地にもたくさんの方々が来られており、オンライン参加も含めると100名を超える参加がありました。

今回のフォーラムでは、農林水産省の伴先生からは畜産における現状と課題やその解決に向けた取組、岩手大学の澤井先生からはテリトーリオ(地域圏)の概念を通じた地域拠点(岩手)の畜産におけるビジョン、北海道大学の安田先生からはフランスにおける事例を中心に最新の畜産ツールの紹介、岩手大学の岡田先生からはセンサーを用いた行動学に関する研究の知見、同じく岩手大学の一條先生からは5G通信技術を利用した遠隔診断システムについての事例に関しての講演がありました。これら講演を通して、現場における少子高齢化や温暖化に対する事態の深刻性が強調されていました。講演会の最後には6大学からの活動報告が行われました。その後、会場を移して、情報交換会が催され、各々の研究や組織の将来構想などについてのオープンな議論が活発に行われ、新たな連携やさらに深い連携が生まれました。

(文) 原田昌彦、戸部隆太

受講料無料 要予約 9/22迄

6大学共催フォーラム兼 FAMS 第22回全体研修会

「スマート畜産の現状と展望」

2025. 9.29 MON
13:00 -17:15
(受付 12:30-12:55)

会 場 岩手大学農学部5号館ばらんホール
〒020-8550 盛岡市上田 3-18-8
(Web 併用)

対象者 畜産関係者、食品営業関係者、一般市民

主催：岩手大学獸医学部附屬動物医学食品安全教育研究センター/
東北大学食と農免疫国際教育研究センター/
東北大学農業生物学研究科食の安全研究センター/
大阪公立大学食品安全部研究センター/
神戸大学農業生物学研究科食の安全・安心科学センター/
宮崎大学産業動物防病リサーチセンター
共催：岩手大学獸医学部附屬農業動物臨床・疾病制御教育研究センター

13:05～ 「日本の畜産業の課題及びその解決に向けたスマート畜産推進の取組」
農林水産省畜産局畜産振興課 課長補佐（総括）
伴 光 氏

13:55～ 「農村と都市との豊かな結びつきを育む「いわて畜産テリトーリオ」」
岩手大学農学部 教授
澤井 健 氏

14:15～ 「乳牛の飼養管理をめぐる最新技術と岩手・フランスの事例」
Bioret Agri Country Manager Japan
北海道大学大学院農学研究院研究員
安田 元 氏

15:10～ 「生体センシング技術による群管理の効率化と高度化」
岩手大学 特任教授
岡田 啓司 氏

15:55～ 「遠隔診療システムの検証と高度利用の検討」
岩手大学 特任教授
一條 俊浩 氏

16:40～ 6大学共催フォーラム
各大学の活動報告

岩手大学、東北大学、東京大学、
大阪公立大学、神戸大学、宮崎大学



(上) 原田先生による活動報告
(下)懇親会の様子

